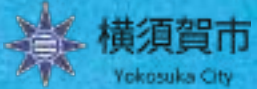


変化を力に進むまち。



本書のイラストは、
未来の横須賀をイメージした
架空のまちです。

YOKOSUKA VISION 2030 横須賀市基本構想・基本計画 マンション

へんか ちから すす
変化を力に進むまち。

YOKOSUKA VISION 2030

よこすか しきほん こうそう きほん けいかく
横須賀市基本構想・基本計画

ハンドブック



YOKOSUKA VISION 2030 とは

よこすか なに たいせつ すす
これからの横須賀は、何を大切にし、どう進んでいくのか、
ねん よこすか すがた えが
さらに、2030年の横須賀はこうありたいという姿を描いたものです。
さき わ おも
「そんな先のことは分からない!」と思うかもしれません。
たし いま へんか め よ なか
確かに、今のような変化が目まぐるしい世の中では、
みらい ただ よそく
未来を正しく予測することはできないでしょう。

じだい
けれども、そんな時代だからこそ、
みらい
「未来はどうなるのか?」ではなく、
わたし かんが
「私たちはどうありたいのか」をみんなで考え
む いっぽ すす たいせつ
それに向かって一歩ずつ進んでいくことが大切です。

よこすか かか おお ひと
このビジョンは、横須賀に関わる多くの人たちと
よこすか かた あ つく
どんな横須賀になりたいのかを語り合いながら作りました。
へんか ちから すす よこすかし みらいぞう かか
そして「変化を力に進むまち。横須賀市」という未来像を掲げ、
ぶんや めざ みらい すがた えが
10の分野で、それぞれ目指す未来の姿を描きました。

じつげん
これから、このビジョンを実現するためにも、
なかま きょうりょく ひつよう
たくさんの仲間と協力することが必要です。
いっしょ ある すば みらい めざ
さあ、一緒に歩きだしましょう。素晴らしい未来を目指して。

変化を力に 進むまち。 横須賀市

温暖な気候と半島特有の海やみどりなどの自然環境。

開国期を彩り近代文明の礎を築いた歴史。

地域の風土に根づいた文化。

多くの外国人の居住や、外国人との交流が生み出す国際的な雰囲気。

集積する、先端的な研究開発機関。

横須賀には「国際海の手文化都市」として育んできた

まちの魅力があります。

しかし、急速に進む人口減少、少子高齢化。

さまざまな分野でのテクノロジーの劇的な進歩。

地球規模での気候変動。

また、新型コロナウイルスの流行により求められる新たな社会システムへの転換。

このような社会情勢の中では、これまでのまちづくりの姿勢を踏まえながらも、

私たちは、心と知恵と力を合わせ、この変化を受け入れ、立ち向かう必要があります。

変化には不安が付きまとうもので、一歩を踏み出すには勇気が必要です。

横須賀に根づく、人と人との絆、助け合い、人情。

そして他区別のない思いやりや慈しみの心。

この「誰も一人にさせない」という変わらぬ精神こそ、

変化への不安を和らげ、人々が一歩を踏み出す勇気になり、

そして最後には変化の荒波を乗り越え、その先へ進む原動力になると考えています。

すべての“ひと”が自分らしく輝けるまちへ。

人も自然も共生する“まち”へ。

「やりがい」と「やりたい」から“しごと”が生みだされるまちへ。

「自分ごと」の意識が未来の“環境”を守るまちへ。

今あるまちの魅力に改めて目を向け、そして変化を追い風にして、

2030年、希望ある豊かな横須賀を目指し進んでいきます。

ひと

すべての“ひと”が 自分らしく輝けるまちへ

ひとり 一人ひとりが自分らしく幸せでいられること。

さまざまな人々が生涯を通じて育てあい、ともに成長を喜ぶこと。

いつまでも、心も体も健やかで家族や仲間と過ごせること。

横須賀の力の源泉である“ひと”の輝きは、さらに増していきます。

まち

人も自然も 共生する“まち”へ

性別・年齢・人種などの違いを力にしていくこと。

いざという時に備え、非常時こそみんなで助け合うこと。

人にも自然にもやさしいまちで、平和に暮らしていただけること。

地域の多様性と調和が“まち”をつくっていきます。

しごと

「やりがい」と「やりたい」から “しごと”が生みだされるまちへ

新しいビジネスに挑戦したくなること。

仕事も遊びもワクワクできること。

海や歴史、文化など横須賀ならではの魅力を生かしていくこと。

やりがい と やりたい を“しごと”の原動力としていきます。

環境

「自分ごと」の意識が 未来の“環境”を守るまちへ

横須賀の自然環境を大切に思うこと。

みんなが未来の環境について考えること。

自分ができることから始めること。

“環境”への意識を高め、持続可能な未来へつなげていきます。

ぶんやべつみらいぞう
分野別未来像
ふくし

福祉

だれ じぶん
誰もが自分らしく
しあわ い
幸せに生きられるまち



すべての人は生まれながらに

しあわ けんり も
「幸せになる権利」を持っています。

しあわ とど なに
幸せに届かない「何か」があるならば、

こえ みみ かたむ
その声にしっかりと耳を傾け、

みな て と あ
皆で手を取り合ってサポートしていく。

よこすか かんが ふくし
これこそが横須賀の考える福祉です。

かんが
この考えをもとに、

よこすか ふくし
横須賀ならではの福祉を

ついきゅう
追求していきます。



だいじょうぶ
「大丈夫ですか。」

こま たす あ
困っていたら 助け合う。

つら ささ あ
辛いことがあったら 支え合う。

て の ぶ きより
手を伸ばせば 触れられる 距離にあるのに

いがい むずか
それが 意外と 難しい。

いっぽ ぶ た て
それでも 一歩踏み出せば 手を取りあえる。

じぶん おも
自分も そうでありたいと 思う。

この まちの みんなが そうであるように。

ぶんやべつみらいぞう
分野別未来像
こそだ きょういく

子育て・教育

いくつになっても
そだ
育てあうまち



そだ そだ
育つことと育てること、

おそ おし
教わることと教えることは、

とも ひと せいちょう すば きかい
共に人を成長させる素晴らしい機会です。

わたし じんせい きやくめん
私たちには、人生のさまざまな局面で

りょうほう きかい おとず
その両方の機会が訪れます。

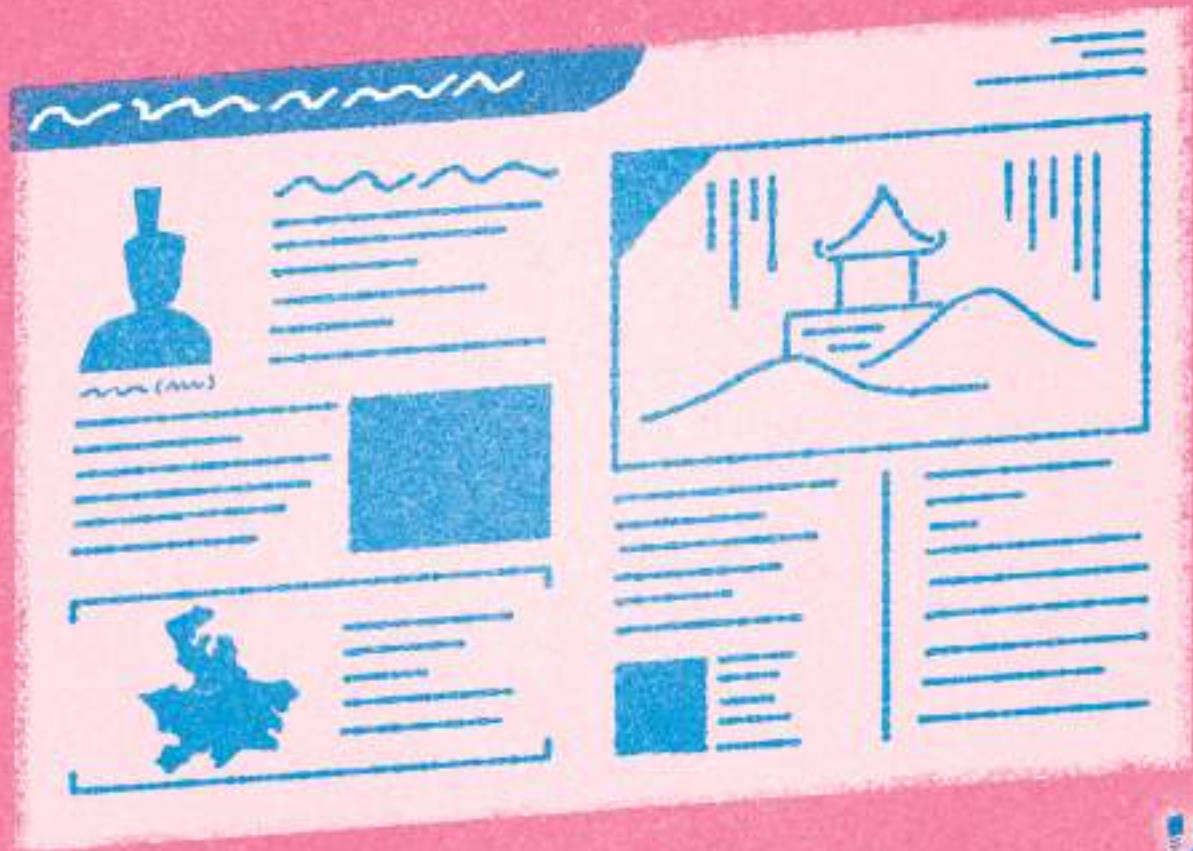
かてい がっこう
そのチャンスを家庭や学校だけではなく、

おお ひと ていきょう
より多くの人に提供し、

じんせい ねん じだい しょうがい つう
人生100年時代、生涯を通じて、

だれ せいちょう よろこ かん
誰もが成長の喜びを感じられるような

サイクルをつくっていきます。



むかしまえ
「ひと昔前は こんなことが あったのよ。」

こうきしん おうせい め かがや だ
好奇心旺盛な目が 輝き出す。

こ まな しせい みなら
子どもたちの 学びの姿勢は 見習わなければ

わたし せんせい せいと
私は 先生であり 生徒でもあるのだ。

ぶんやべつみらいぞう
分野別未来像
けんこう いりよう

健康・医療

けんこう
健康がすぐそばに
あるまち



す な ちいき
住み慣れた地域で

けんこう す
いつまでも健康で過ごすためには。

じゅうじつ いりよう ていきょうきばん くわ
充実した医療の提供基盤に加えて、

じぶん さいりょう しゅじい
自分にとって最良の主治医は

じぶん かんが
自分であるという考えのもと、

ひとり けんこうじゅみょうえんしん
一人ひとりの健康寿命延伸の

と く ひつよう
取り組みが必要です。

おう
ライフステージに応じた

けんこうぞうしん と く すす
健康増進の取り組みを進め、

はかば
ゆりかごから墓場まで、

じぶん あんしん す
自分らしく安心して過ごせるまちを

めざ
目指します。

「この数値が気になるわ。」

こまめに健康状態をチェックする。

「この後はお散歩へ行こうかしら。」

少しでも長くこのまちを

見守りたいからね。



ぶんやべつみらいぞう
分野別未来像

コミュニティ

たよう ちから
多様な力で
つくるまち



リモート化の進展により、

オンライン上での交流が活発になる一方、

リアルな対面での交流の場面は、

今までの職場や学校といった単位から、

地域や家族といった単位に変わりつつあります。

こうした流れの中で、地域には、

ふれあい、助け合いがある、

つながりの強い近助の精神を持った

コミュニティが求められます。

横須賀では、先人たちが

このようなコミュニティを築き上げてきました。

このつながりを次の世代に受け継いでいく、

そして多様性を認め合い、

住民自治の力の向上を図ることで、

更なる価値をつけていくことが、

横須賀の飛躍へとつながります。

「なにか あったら ^{こえ} 声かけてね。」

^{じんしゅ} 人種も ^{ねんれい} 年齢も ^{せいべつ} 性別も

みんな ^{ちが} 違うけれど

この まちの ^{ひと} 人たちは

みんな あたたかい。



ぶんやべつみらいぞう
分野別未来像
ぼうさい あんぜん

防災・安全

つながりと備えが
安心を生むまち



あんぜん あんしん
安全と安心。

たいせつ おびや
大切なのは、それが脅かされたときに、

さいあく じたい さ たいせい
最悪の事態を避けられる体制を

つくっておくこと。

へいじ にちじょうき そな
平時だからこそできる、日常的な備えや

ちいき こうちく だいじ
地域のつながりの構築が大事です。

めん とし きばん とし こうぞう
ハード面での都市基盤・都市構造の

せいび きょうか くわ
整備・強化に加えて、

いしき じょうせい
この意識を醸成していきます。

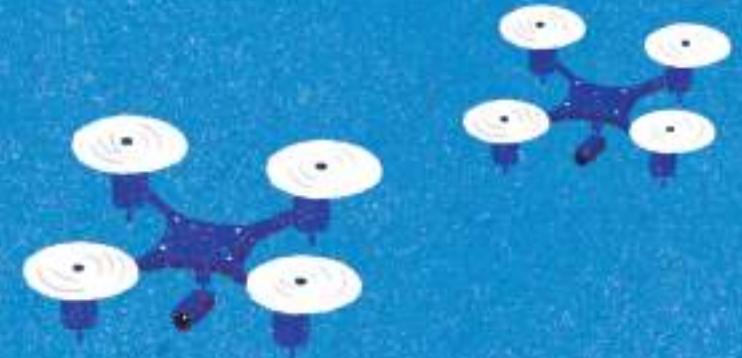
いっしょむ
「一緒に向かいましょう。」

なにか あったときに ^{こえ}声をかけられる ^{ひと}人や

^{ばしょ}場所があるだけで ^{こころづよ}心強い。

^{さいなん}どんな災難も

^の乗り越えていける気が ^きするんだ。



ぶんやべつみらいぞう
分野別未来像

としきぼん

都市基盤・まちづくり

だれ
誰もが暮らしを
あい
愛せるまち



すがた ひと く かたち
まちの姿は人の暮らしを形づくりします。

じんこうげんしょう しょうし こうれいか なか
人口減少、少子高齢化の中、

コンパクトなまちづくりの

してん も
視点を持ちながら、

ちいき しげん さいだいげん い
地域資源を最大限に生かした、

よこすか どうか こせい ゆた
横須賀独自の個性豊かなまちづくりを

すす
進めていきます。

く ひと よ そ
また、暮らしや人に寄り添った

こうつうかんきょう せいび おこな
交通環境の整備も行っていきます。

「さあ 今^{きょう}日は どこへ行^いこう。」
この 一本^{いっぽん}の 道路^{どうろ}から 海^{うみ}も 山^{やま}も まちも 人^{ひと}も
いろん^{ばしょ}な 場所^なへ 仲間^{なかま}へ つなが^つっていく。
都会^{とかい}すぎ^{いな}ず 田舎^{いなか}すぎ^かず 活気^{かつき}にあふ^あれている。
このまちの そんなところ^すが 好き^すだ。



ぶんやべつみらいぞう
分野別未来像
さんぎょうしんこう

産業振興

しっぱい おそ
失敗を恐れない
ちょうせんしゃ おうえん
挑戦者を応援するまち



きぞん さんぎょう ささ
既存の産業を支えつつ、

あら ぎじゅつ ぶんや ゆうごう
新たな技術や分野との融合による

そくしん
イノベーションを促進し、

しょう たようせい ふか かし
生ずるビジネスの多様性や付加価値を

よこすか つよ
横須賀の強みとしていきます。

きぞん じぎょうしゃ けんきゅう かいはつ きかん とう
また、既存の事業者や研究開発機関等の

あら くわ
新たなチャレンジに加えて、

ほかん きぎょうか ちょうせん れんけい
これを補完する起業家の挑戦、連携を

あとお たいせい ととの
後押しする体制も整えていきます。

「どうせできない。」

「無理に決まっている。」

そんな言葉を はねとばすような

力強い後押しに 支えられてきた。

さあ 冒険の始まりだ。



ぶんやべつみらいぞう
分野別未来像
かんこう ぶんか

観光・文化

ワクワクが
だ
あふれ出すまち



よこすか ちいき しげん い
横須賀のあらゆる地域資源を生かし、

おんがく とう
音楽、スポーツ、エンターテインメント等の

ちから ゆうごう
力を融合させて、

みぢか
身近にそれらがあふれ、

しみん
まずは市民がワクワクし、

じもと たの ほこ あいちゃく
地元を楽しみ、まちに誇りや愛着を

も しか
持てるような仕掛けをつくっていきます。

う ねつりょう そと でんぱ
そこで生まれた熱量は、外にも伝播します。

しゃかいじょうせい とら
社会情勢やトレンドを捉え、

よこすか たいけん
横須賀でしか体験できないこととして、

はっしん おこな
ブランディングや発信を行い、

しがい しゅうきゃく
市外からの集客につなげます。

ぶんやべつみらいぞう
分野別未来像

かいよう

海洋

かのうせい み うみ
可能性に満ちた海を
かつよう
活用するまち



よこすか うみ とくべつ そんざい
横須賀の海は、特別な存在です。

とうきょうわん さがみわん
東京湾・相模湾それぞれが

とくせい も けいかん ゆた しぜん
特性を持つ景観、豊かな自然、

ほうふ すいさんぶつ い しょく ば
豊富な水産物やそれを生かした食の場、

さらにマリンスポーツ、

マリンレジャーに適した環境がある一方、

れきし いさん けんきゅう かいはつ きかん
歴史遺産や研究開発機関、

こくないがい ぶつりゅうきよてん こうわん きのう ゆう
国内外の物流拠点となる港湾機能も有し、

たよう みりよく かのうせい も
多様な魅力と可能性を持っています。

うみ たようせい よこすか
この海の多様性は、横須賀にしかない

どくじ
独自のものです。

つよ いしき
そのことを強く意識し、

さいだいげん かつよう
最大限まちづくりに活用するとともに、

じせだい ひ つ
次世代に引き継いでいきます。

しお かお かせ きも
「潮の香りと 風が 気持ちいい。」

だれ じゃま とくべつ じかん
誰にも 邪魔されない 特別な時間。

かんかく ひと し
この感覚を もっとたくさんの人に 知ってほしい。

おも
そんなことを 思いながら

む かせ つ すす
向かい風を 突き進んだ。



ぶんやべつみらいぞう
分野別未来像
かんきょう

環境

じぶん いしき
「自分ごと」の意識が
みらい まも
未来を守るまち



じぞく かのう しゃかい じつげん
持続可能な社会を実現するために

たいせつ
大切なことは、

ひとり にちじょう せいかつ
一人ひとりが日常の生活において、

かんきょう
環境にかかわることを

じぶん かんが
「自分ごと」として考えることです。

いしき じょうせい
この意識の醸成により、

よこすか ほこ ゆた しぜんかんきょう
横須賀が誇る豊かな自然環境と、

かいてき せいかつかんきょう
快適な生活環境を

しょうらい せたい ひ つ
将来の世代に引き継いでいきます。

「ずいぶんきれいな ^{うみ}海になったね。」

^{ゆた}豊かなみどり ^{しお}潮の香りの ^{ただよ}漂うまち。

^{とうぜん}当然のように ^{そば}そばにあった ^{けしき}景色は

^{ほんとう}本当は とても とても

かけがえのないもの。



ねん よこすか しんか
2030年 横須賀は 進化した。

テクノロジーの ^{ちから}力もかりて
より あたたかく ^{ひと}人との つながりが
^{かん}感じられる まちに。



「YOKOSUKAビジョン2030」の全編は、
横須賀市のホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0830/yokosukavision2030/top.html>
また、横須賀市役所で冊子を販売しております。

発行年月 令和4年(2022年)3月

発行元 横須賀市経営企画部都市戦略課

住所 〒238-8550 横須賀市小川町11番地



リサイクル適性

本冊子は、グリーン購入法に基づく令和3年度横須賀市グリーン購入調達方針の判断の基準を満たす紙を使用し、かつ、板紙へのリサイクルに適した材料〔B ランク〕で作製しています。

変化を力に進むまち。

